

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和 5年 7月 19日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
草津市野路1丁目8番23号 I・O・Rビル2F 2

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
サイチ工業株式会社 代表取締役 山本 彰
(代理人) 工場長 草木 克

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	サイチ工業株式会社 代表取締役 山本 彰
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	草津市野路1丁目8番23号 I・O・Rビル2F 201

1 事業者の概要

事業所の名称	サイチ工業株式会社 製造本部 蛸田工場								
事業所の所在地	滋賀県栗東市出庭蛸田479								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチックフィルム・床材・合成皮革加工業			
事業の概要	真空蒸着機を用いたフィルムへのアルミ金属蒸着加工								
従業員の数	56	人	作業時間	24	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	2	台	照明設備	50	台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	4	台	その他	生産用モーター	10台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和 4 年度	報告対象年度	令和 4 年度
	終了年度	令和 8 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

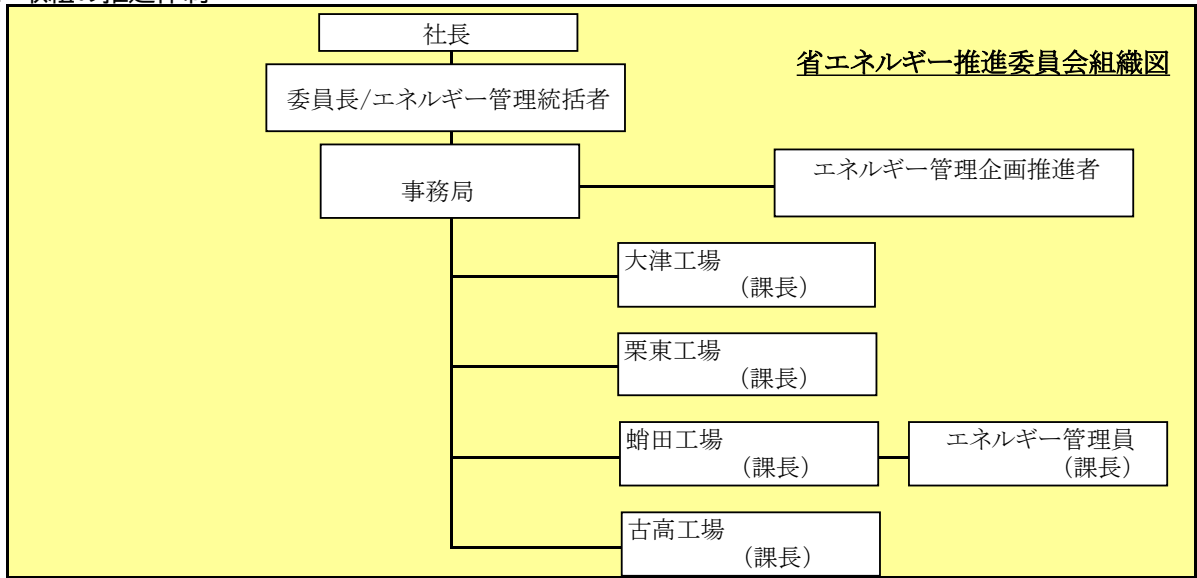
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

サイチ工業は、「地球環境と調和した経営活動を通じて社会に貢献する」という認識の下、企業活動のあらゆる面で地球環境保全を重要課題と位置付け、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを継続して推進する

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー活動については、平成22年度から計画的に積極的な取組を行っている。

- 蒸着機2台の真空ポンプを段取時間に止めて待機電力を削減する事で、約20%の省エネを達成した。
- 第一電気室の高圧変圧器をトップランナー方式へ更新し、10KL/年相当の効果が出了。(高効率アモルファス変圧器の採用)
- 検品室の水冷式空調機1台を空冷式ヒートポンプ型へ更新した。(COPは0.9→3へ効率がUpした。)
- 蒸着室の水銀灯4基をLED照明に交換した。(水銀灯:400W→LED照明:98Wへ)
- 工場1階の照明器具28台について、省エネ効果の高いLED照明に更新した。
- 事務所棟食堂の空調機を更新した。
- 蒸着機械室の水銀灯8基をLED照明に更新した。
- 蒸着フロアのLED照明(28基)、安定器(28個)を更新した。
- エアーコンプレッサー/旧スクルー型からレシプロ型に変更更新(10kw→7.5kw)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	エネルギーの設備別使用量を把握する。EMSによるエネルギー管理報告を実施する。	平成27年度～平成33年度	継続実施中
2	運用改善	夏季に於ける電力ピーク対策として、高周波発電機2台が同時に起動しないようにインターロックを設	平成33年度～平成33年度	継続実施中
3	設備導入	蒸着フロアの空調機2台の更新(200kw)	令和1年度～令和4年度	実施済
4	設備導入	太陽光蓄電パネル設置計画(倉庫屋根に設置)	令和4年度～	令和5年3月に施工完了5月～運用開始
5	運用改善	ポンプ動力インバータ(SMX)復活による省エネ改善	令和4年度～	計画中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組等により、H23年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位「温室効果ガス排出量/生産量(加工m)」で毎年1%削減</p> <p>なお、原単位の考え方は次の通りです。 温室効果ガス排出量は製品の生産量に大きく影響を受ける為、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。なお、実績を目標と適切に対比させる為、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定に当たっては電気のコ₂排出係数(電力原単位)は基準年度の係数に固定して算定します。</p>	<p>・前年度に比べCO₂排出量は抑制できた。 →原単位については生産効率の低下から前年度と比べて少しの悪化傾向。</p> <p>・原単位 令和3年 5.385 対前年比 103.6% ↓ 令和4年 5.406 対前年比 100.4%</p> <p>・CO₂排出量 令和2年 2494t-co₂ ↓ 令和3年 2440t-co₂ ↓ 令和4年 2093t-co₂</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(令和4)年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,680	1,744				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,440	2,093	0	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,440	2,093				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		5.385	5.406				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	特に取組みの計画なし	-	-
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電装置の導入を実施。(2023年5月～運用開始)
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0				
上記のうち自家消費量	kWh	0				